SUSTAINABILITY REPORT 2021

MARUSHIN

MARUSHIN









2022年9月8日～9月12日フランス・パリ『 Maison Objet 』出展

CONTENTS

01

Introduction

02 会社概要・子会社
03 経営理念・行動指針MMR
04 会社沿革
05 サステナブル方針・
未来を紡ぐための取り組み
06 丸眞CSRマニュフェスト

02

Products

08 LLP商品
09 子ども支援
10 人道支援
12 環境支援
13 動物支援
14 女性支援
16 寄付金額
18 医療福祉支援
20 サステナブルマーク

03

Recycling Activities

22 使用済み切手回収
プラスチックハンガー回収
ペットボトルキャップ回収
巻き芯回収

04

Social

24 寄付支援
25 女性活躍推進・広報
数字で見る丸眞
～サステナビリティ編～
26 社内研修・本社大改装

05

Environment

27 脱炭素化社会に向けて

06

SDGs Activities

28 取り組み一覧

07

Opinion From Outsider

29 第三者意見

01 Introduction

会社概要

丸眞は昭和41年(1966年)に名古屋市内にて創業。
タオルを中心とした営業活動で基盤を築き、1980年代には、任天堂、講談社、サンリオ等と提携、以後スタジオジブリ、ウォルト・ディズニー、ワーナーブラザーズ等と、大手キャラクターライセンスビジネスにも業界のファストランナーとしていち早く着手してきました。

30周年を機に社名を「丸眞タオル株式会社」から「丸眞株式会社」に変更し、同時に愛知県瀬戸市に物流センターをかまえる。タオル製品のみならず、寝装品・贈答品・インテリア・雑貨等に至るまで幅広い繊維製品の商品企画・製造・卸販売業務、及び貿易業務を行う総合商社として、国内トップクラスの業績を誇っています。

創業時



名古屋本社



東京支社



大阪支社



瀬戸物流センター



子会社

丸眞香港有限公司
Marushin Sun Heart(H.K.)Limited

2014年7月『丸眞香港有限公司』【Marushin Sun Heart (H.K.) Limited】を設立しました。今後はこの『丸眞香港有限公司』を拠点とし、日本国内だけに留まらずアジア、そして世界へと事業拡大を目指します。長年培ってきたものづくりのノウハウと情熱で、世界中のコンシューマーの皆様へより良い商品をお届けします。

MARUSHIN
Sun Heart(H.K.)Limited

株式会社 水野

2022年7月より丸眞の子会社となりました。国内および海外にて企画開発したラグ、インテリアファブリックやカーペットなどの商品を展開している会社です。コンシューマーの皆様に満足し、また安心して使っていただける商品を提案できるよう、常にクオリティーの高い商品開発を目指し、さまざまな用途に合わせた新しい商品をお届けします。

OPIST®

経営理念

**私たちは「MARUSHIN」の商人として未来を紡ぎ、
チャレンジ精神を持って世界中の暮らしを豊かにします。**

行動指針

MMR
MARUSHIN's Merchant Roots
丸眞の商人としてのルーツ

01. Consumer First
何事においてもコンシューマーを第一に考え行動します。 商人として常にコンシューマー目線に立ち考え、
安心・安全で高品質な魅力ある商品やサービスを安定的に提供し続けます。

02. Ownership
商人として経営者目線を持ち、何事にも主体性を持って行動し利益を生み出します。

03. Samurai Spirit
謙虚な姿勢を持ち、礼儀・感謝を言動に表し、相手の立場で考え素直に行動します。
コンシューマーへの誠実さを忘れず、商人としての熱意を持って何事にも取り組みます。

04.Fast Runner
商人としてチャンスや問題に気付き、即断・即決・即実行します。自らの行動で周りを巻き込み、
いち早く実現します。

05. Professional
プロである意識と学ぶ姿勢を持ち、知識・技術を磨き、
商人としてコンシューマーの信頼と満足を追求し続けます。

06. Navigate
商人として高い目標を掲げ、現場・現物・現実を見て根拠のある予測をします。
長期的な目線で戦略を考え、計画性を持ち、攻めの行動とリスク対策を行います。

07. Create Value
日頃から好奇心を持ちアンテナを張り、コンシューマーの喜びのヒントを見つけます。固定観念にとらわれず、
チャレンジし、商人として驚きや新たな発見に繋がる商品価値・サービスを提供します。

08. Upgrade
商人として常に疑問を持ち生産性と効率を意識して、良いものは伸ばし、
その上でより良いものを求めて改善・実行します。

09. Commitment
商人として掲げた目標を必ずやり遂げる強い意志・責任を持ち達成します。
たとえ困難が生じたとしても諦めず、スピード感を持ち、できる方法を考え必ず成果を出します。

10. Corporate Branding
一人一人が社会全体に目を向け、企業としての果たすべき役割を考え行動し、
世界中に選ばれる「MARUSHIN」になります。

会社沿革

- 1966 — 1966年4月 名古屋市千種区にて丸眞商店創業
- 1968 — 1968年5月 丸眞タオル株式会社設立
- 1986 — 1986年 任天堂と提携 「スーパーマリオ」 商品化
- 1989 — 1989年 設立20周年記念
  サンリオと提携「サンリオキャラクター」 商品化
- 1994 — 1994年 スタジオジブリと提携「となりのトトロ」商品化
- 1996 — 1996年 丸眞株式会社に社名変更。本社を守山区に移転。
  瀬戸市日の出町に丸眞株式会社「瀬戸物流センター」竣工
- 1999 — 1999年6月 ムーミンキャラクターズ社と提携
  「ムーミン」 商品化
- 2000 — 2000年1月 東京都中央区東日本橋に東京支社を開設
- 2002 — 2002年10月 ウォルト・ディズニーと提携
  「ディズニーキャラクター」 商品化
- 2007 — 2007年1月 大阪市中央区久太郎町(本町)に大阪支社を開設
- 2014 — 2014年7月 丸眞香港有限会社公司設立
- 2017 — 2017年 創業50周年記念
  代表取締役交代 眞下一成就任
  東京支社を日本橋2丁目に移転
- 2018 — 2018年2月 大阪オフィスを大阪市中央区本町に移転
  名称を大阪オフィスから大阪支社へ変更
- 2020 — 2020年 「オリンピックタオル」 販売開始
- 2021 — 2021年 CSR対象商品「LLP」商品の開発
- 2021年～2022年 本社大改装
- 2022 — 2022年 株式会社水野を子会社化
  丸眞マニュフェスト策定
- 2030 — 2030年 丸眞マニュフェスト達成

丸眞のサステナブル方針

丸眞では、経営理念と行動指針MMR の概念を軸とし、100年企業、そして選ばれ続ける企業を目指します。
2030年までの長期目標を掲げた “Future Vision 2030 ”を基にサステナブル活動に取り組んでいます。

Future Vision2030
丸眞株式会社と未来を紡ぐ

丸眞は、タオルを中心とした繊維製品を事業の柱として、コンシューマーをはじめとした関わる全ての人々の「夢と楽しさにあふれる未来」を”紡ぐ”ために、常に挑戦をしています。サステナビリティに配慮した企業経営は、より一層重要な課題です。ものづくりにおける環境への取り組みだけでなく、2025年までにより早く・よりコンシューマーの元へ商品をお届けするための高度な自社物流機能の設備、物流ＩＴ人財の増員を推進していきます。

丸眞の商品を購入してくださるコンシューマーの方々、パートナーの皆様、丸眞で働く従業員、従業員の家族、そして地域社会すべての人から選ばれ続ける企業を目指し、世界のMARUSHIN、そして100年企業になるべく挑戦・革新を続けます。



未来を紡ぐための取り組み

MARUSHIN MANIFESTO
ものづくりにおいてサステナブルにアプローチできる6つの目標

PRODUCTS
商品を通しての社会貢献活動

RECYCLING
廃棄されるものを回収し子どもたちの笑顔や環境保護へと繋げる活動

ENVIRONMENT
脱炭素社会に向けて社内での取り組み

SOCIAL
寄付支援や従業員の働きのサポート体制、社外へ向けた広報発信

丸眞CSR マニュフェスト

MARUSHIN | MANIFESTO 6 FOR 2030

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY

丸眞が日々開発している商品は様々な「人」が関わり、そして「地球環境」が関わります。責任を持って商品を開発するために丸眞ができること、未来を紡ぐものづくりとはなにか。これからも安心安全な商品をコンシューマーへ届けることが私たち丸眞の使命です。安心安全な商品の提供と世界中の暮らしを豊かにするために「商品」「資材」「生産過程」の3点をテーマに、2030年までにコミットメントすべき6つの目標を策定いたしました。

PRODUCT

100% サステナブルコットンのタオル製品へ

丸眞はコットンを素材とする商品開発を行うプロフェッショナルとして、綿花の製造が関わる環境への影響にアプローチします。

綿花の製造は、過剰な水の使用量や農薬や肥料の過度な使用等問題点が様々あります。世界中で使用される殺虫剤の約１６%はコットン畑で消費され、殺虫剤の被害により視覚障害を患ってしまう人や亡くなってしまう人もいます。

丸眞では、製造者からコンシューマーまで全員にとって安心安全な素材を扱い、商品を製造します。



PRODUCT

ポリエステル製品をすべて天然繊維、再生ポリエステル素材へ

丸眞では、商品に使用されるポリエステルを、近年再生ポリエステルへ切り替えてまいりました。

世界のプラスチックゴミの排出量は年間で約８００万トンにも上っています。プラスチックは自然分解されず、自然や生物に対して大きな影響を与えます。

丸眞は、天然繊維、再生ポリエステルの使用率100%を目指し、環境に配慮した商品開発を行います。



PRODUCT

製造工程で使用する染料を環境負荷の少ない染料へ

丸眞が製造している商品には、多くの染料が使用されています。

染料には、大気汚染の原因である揮発性有機化合物や二酸化炭素の排出量を増やす問題があります。また、染色工程で発生する漂白剤などの薬品も有害な化学物質であり、染色に使用する水にも悪影響を及ぼしています。

丸眞では、染料が与える「環境・健康・安全」への影響を減らすべく、環境負荷の少ない染料を使用します。



MATERIAL

ネームタグを 100%コットン及び再生素材へ

丸眞は、商品自体の素材だけではなく、商品に使用するネームタグなどの資材にあたる部分も含め、サステナブルな商品を製造します。

商品の素材がサステナブルなものであっても、付いているタグの素材がサステナブルなものでないと、環境に配慮した商品とは言えません。

これまで、織ネームや洗濯ネームの素材は、ポリエステルなどの化学繊維の素材が中心でしたが、環境に配慮したものづくりを行うために、これらの素材をコットン及び再生素材のものへ変え企画・製造します。



MATERIAL

資材を天然素材もしくは再生素材へ

丸眞は、商品をコンシューマーの皆様にお届けする際の梱包やパッケージにおいても、サステナブルな資材を追求します。

商品をお届けするにあたり、梱包以外にも付属するハンガーやフック、アンピタッチも欠かすことができない資材です。

丸眞では、これまでハンガーなどプラスチック製の資材を使用することがありましたが、資材においても脱プラスチックを目指し、環境に配慮した商品の製造を行います。



PROCESS

生産過程において使用するエネルギーを再生エネルギーへ

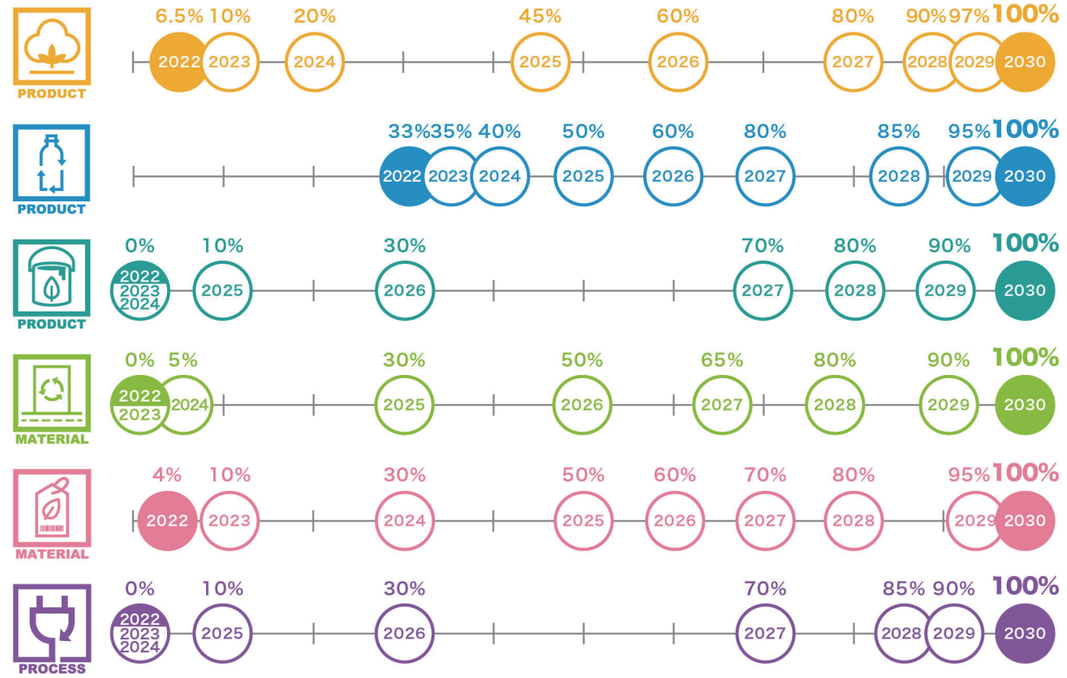
丸眞では、商品が製造される工程やそこで発生する影響に対し向き合い、サステナブルな製造にアプローチします。

商品を製造するためには、必ず製造工場でのエネルギーが大量に必要とされます。そして、エネルギー使用による地球温暖化問題は、年々深刻になる一方です。

よりサステナブルな生産を行うために、製造過程において使用するエネルギーを再生可能エネルギーに移行します。



進捗率



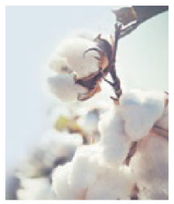
サステナブルコットン

オーガニックコットン　リサイクルコットン

丸眞では、繊維商社として使い心地の良い商品をコンシューマーに届けることはもちろん、地球と人に配慮したサステナブルコットンを使用しています。

サステナブルな生活に寄り添いながらも尚、商品・ブランドの世界観を引き出すことができるものづくりを続けています。オーガニックコットンとは認証機関に認められた農地で、農薬・肥料の厳格な基準を守って育てられた綿花です。

現在は、サステナブルコットンを含んだ商品開発を進めることで、自然の恵みを生かし、地球と人に寄り添ったサステナブルな環境作りに貢献しています。





再生ポリエステル

再生ポリエステル　エコマーク認定番号 20101004

現在、プラスチックによる環境汚染が繊維業界においても重要な課題になっています。

丸眞では、回収したペットボトルを原料とした再生ポリエステルを使った商品を開発しています。再生ポリエステルの使用は石油の使用量や、使用済みペットボトルの廃棄物量の削減ができるため、近年繊維業界において注目されています。

該当商品は再生ポリエステルを50%以上使用しており、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた証として、エコマークを表示しています。

商品開発に再生ポリエステルを取り入れることで、地球の環境課題解決へ貢献しています。





02 Products

Long Lasting Products ～未来へ続く商品～

丸眞では、売り上げの一部を社会支援団体へ寄付する商品を開発しています。社会支援に繋がる商品は「Long Lasting Products(=未来へ続く商品)」と総称し、様々な丸眞オリジナルブランドが対象です。Long Lasting Productsを通してコンシューマーの皆様の驚きや新たな発見に繋がる商品価値を提供し続け、コンシューマーの皆様と新たな未来を紡いでまいります。

Long Lasting Products の対象商品をご購入いただくことが、様々な社会支援に繋がります。



支援の流れ

丸眞の対象ブランド商品を販売、コンシューマーにご購入いただく → 売り上げの一部を社会支援団体へ寄付 → 支援先で食糧・ワクチン代・講演会費など様々な活動費に充てられる

子ども支援

【対象ブランド】

「ヤップ®」

「サンハート®」

「ピッコリーノ®」

飢餓から救う。未来を救う。WFP 国連世界食糧計画

特定非営利活動法人
国連 WFP 協会

人道支援

【対象ブランド】

「ポルッカパターン®」

「ガッツ！®」

「ノーブルカラー」

「ima～いま～®」

特定非営利活動法人
ジャパン・プラットフォーム

認定 NPO 法人
世界の子どもにワクチンを
日本委員会（JCV）

環境支援

【対象ブランド】

「ポルク®」

公益財団法人
オイスカ

動物支援

【対象ブランド】

「ワンダフルピース®」

一般社団法人
盲導犬総合支援センター

女性支援

【対象ブランド】

「メニーメニー™」

「ピンクリボン」

公益財団法人
プラン・インターナショナル・ジャパン

認定 NPO 法人
乳房健康研究会

子ども支援 対象オリジナルブランド

「yup!」インスタグラム

商品詳細はコチラ



飢餓と貧困の中に生きる世界の子どもたちへ「学校給食」という希望を。

世界では今、学校に通うことができず、貧しい暮らしを強いられる子どもたちが5,900万人。子どもたちの5人に1人が慢性的な栄養不良に陥っています。

国連WFP協会が行うレッドカップキャンペーンでは、赤いカップを目印に様々な対象商品が発売され、集まった寄付が貧しい子どもたちへの給食支援に繋がります。2011年に開始したこのキャンペーンでは、累計2,000万人以上の子どもたちに学校給食が届けられています。

丸眞は、レッドカップキャンペーンに賛同し、3つの対象ブランドの売り上げの一部を寄付しています。

飢餓から救う。未来を救う。WFP 国連世界食糧計画 ▶▶▶▶ 活動の詳細はこちら

対象商品のご購入が、子どもたちへの給食支援に繋がります。
▶30円で飢餓に苦しむ子どもに、1日分の給食を届けることができます。

対象ブランド

yup!(ヤップ)

食品パッケージをモチーフにしたポーチなど食べ物にちなんだユーモア溢れる商品を展開中。





2022年9月7日–9月9日東京ビックサイト『ギフト・ショー』出展

piccolino(ピッコリーノ)

「piccolino」(ピッコリーノ)はイタリア語で「小さくてかわいい」という意味。通園・通学が楽しく過ごせるようカラフルで元気なスクールアイテムにぴったりのデザイン。



SUN HEART(サンハート)

夏を思いっきり楽しむ太陽のように明るくて熱くて元気!自由で開放的な雰囲気が溢れるブランド。





まるガチャ

福利厚生の一環として、ミニタオル等が購入できるガチャガチャ(まるガチャ)を導入。まるガチャの売り上げを全額国連WFPへ寄付しています。今年度(2022年3月～2022年8月)は47,500円の寄付をさせていただきました。

従業員への福利厚生が社会支援につながる取り組みを、今後も実施してまいります。





人道支援　対象オリジナルブランド

porukka pattern® × 世界の子どもにワクチンを JCV Japan Committee for Vaccines for the World's Children

「ポルッカパターン」インスタグラム

商品詳細はコチラ



©JCV

世界の子どもにワクチンを JCV Japan Committee for Vaccines for the World's Children ▶▶▶▶ 活動の詳細はこちら

ワクチンで助かる ちいさな命を救いたい。

世界では20秒に1人、ワクチンがないために命を落とす子どもたちがいます。

認定NPO法人　世界の子どもにワクチンを　日本委員会(JCV)が行う子どもワクチン支援活動では、世界の子どもを感染症から守るためのワクチンを確保し、感染症の完全予防対策を支援しています。

丸眞は子どもワクチン支援活動に賛同し、対象ブランドの売り上げの一部を寄付しています。

対象商品のご購入が、世界中の子どもたちを感染症から守る活動に繋がります。

▶ポリオワクチンはわずか20円。100円で5人の子どもの命を守ることができます。

対象ブランド



2022年9月7日–9月9日東京ビックサイト『ギフト・ショー』出展





porukka pattern®

porukka pattern（ポルッカパターン）

“porukka（ポルッカ）”はフィンランド語で“仲間”を意味し、暮らしを大切にする北欧の仲間たちとの日々の生活を7つのテーマで表現。生活を彩る日常に寄り添った心地よいデザインが特徴。



ガッツ!! × NOBLE COLOR ima MARUSHIN × JAPAN PLATFORM

商品詳細はコチラ



©PWJ

JAPAN PLATFORM ▶▶▶▶ 活動の詳細はこちら

災害・人道危機から、人々の平和な生活を守るために。

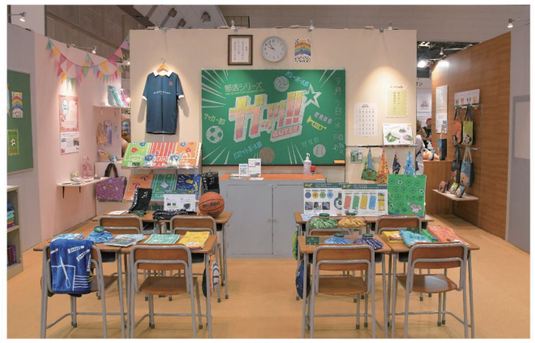
現在、自然災害で避難を余儀なくされるリスクは過去約50年で災害件数が6倍に増加したといわれ、武力紛争の激化で人道危機はますます難化しています。

ジャパン・プラットフォーム（JPF）が行う緊急災害支援基金では、国内外の自然災害による被災者、紛争による難民・国内避難民に、迅速かつ効果的に支援を届けるための活動に取り組んでいます。

丸眞は、緊急災害支援基金に賛同し、3つの対象ブランドの売り上げの一部を寄付しています。

対象商品のご購入が、災害から人々の生活を守る活動に繋がります。

対象ブランド



2022年9月7日–9月9日東京ビックサイト『ギフト・ショー』出展

ガッツ!!

いろいろな部活をモチーフにしたダサかわいいアイコンが目を引く部活デザインのシリーズ。



ima(いま)

「いいモノをつくる」をコンセプトに今治製の特徴を生かしたタオルを展開中。

NOBLE COLOR (ノーブルカラー)

ホテルの客室で使えるような、しっかりしていて、それでいて柔らかボリュームのある極上のホテルスタイルタオルを展開中。



環境支援　対象オリジナルブランド

「polku」インスタグラム

商品詳細はコチラ



©oisca

活動の詳細はこちら

世界各地の子どもたちとともに、緑の地球へ。

世界の森林は毎年約1,000万ha、日本の本州の約半分に相当する面積が失われているとされています。

公益財団法人オイスカが行う「子供の森」計画では、子どもたちが学校や地域で苗木を植えて育てていく活動を通して「自然を愛する心」や「緑を大切にする気持ち」を養いながら地球緑化を進めています。

この活動は、2021年度末現在、37の国・地域から5,406の学校が参加しています。

丸眞は「子供の森」計画に賛同し、対象ブランドの売り上げの一部を寄付しています。

対象商品のご購入が、世界各地の子どもたちの植林・育林の活動に繋がります。

対象ブランド





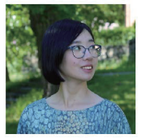
polku（ポルク）

「小道、森の中にあるような細い道」という意味で、フィンランドの自然の中を散歩するようにデザインを楽しんでもらいたいという意味をこめているブランド。デザインはフィンランドに住むふたりのデザイナーによって描かれている。



2022年9月7日~9月9日東京ビックサイト『ギフト・ショー』出展

星　佐和子（ほし　さわこ）



marimekko へのデザイン提供などを行っているヘルシンキ在住のテキスタイルデザイナーです。「自然の美と記憶の中の風景」をテーマにデザインを制作しています。



Jenna Kunnas　イェンナ・クンナス



フィンレイソンのフィンランド独立 100 周年を記念したデザインの「MUUTO」はイェンナが制作しています。フィンランドの自然を大胆に落とし込んだデザインが素敵です。



動物支援　対象オリジナルブランド

wonderful peace

みつけた！私にできること。
一般社団法人
盲導犬総合支援センター

商品詳細はコチラ



写真提供：公益財団法人日本盲導犬協会

みつけた！私にできること。
一般社団法人
盲導犬総合支援センター

活動の詳細はこちら

盲導犬とともに、行きたい時に行きたい場所へ。

現在、日本全国で活躍している盲導犬の数は848頭（2022年3月現在）。

盲導犬総合支援センターでは、目や体に不自由がある方、そのパートナーである盲導犬の育成を支援することで、盲導犬ユーザーと盲導犬がもっと安心・安全に、そして活き活きと歩くことができる社会を目指しています。

丸眞は盲導犬総合支援センターに賛同し、対象ブランドの売り上げの一部を寄付しています。

対象商品のご購入が、補助犬育成及び障がい者の社会参加への支援活動に繋がります。

対象ブランド

wonderful peace®

wonderful peace（わんだふるピース）

補助犬とユーザーの「安らぎ」（peace）がパズルのように「ひとかけら」（piece）ずつ繋がるように願いを込めたブランド。



2022年9月7日~9月9日東京ビックサイト『ギフト・ショー』出展





女性支援　対象オリジナルブランド

商品詳細は
コチラ



乳がんで亡くなる女性を、1人でも減らし、乳がん患者やその家族にとって優しい社会を。

現在、11人に1人、毎年10万人の女性が乳がんに罹ると言われています。医療が進化した今でも、乳がんになった女性の約20%が乳がんで亡くなっています。

乳房健康研究会が行うピンクリボン活動では、乳がんによる死亡率を低下させるために正しい乳がんの知識を広める講演や女性検査技師の育成を進めています。

丸眞は、ピンクリボン活動に賛同し、対象ブランドの売り上げの一部を寄付しています。

活動の詳細
はこちら

対象商品のご購入が、乳がんで苦しむ女性を守る活動に繋がります。

対象ブランド

Pink Ribbon （ピンクリボン）

乳がんの正しい知識を広め、早期発見・早期診断・早期治療の重要性を広めるための世界共通のシンボルマークであるピンクリボンのタオル、エコバッグなどのアイテムを展開中のブランド。





ウーマンプロジェクト

女性従業員を支えるプロジェクトの推進

丸眞では女性従業員が多数在籍する会社であるからこそ、女性の活躍を支えるウーマンプロジェクトの一環として、全額会社負担にて全女性従業員に乳がん検診を推奨しています。

商品を通して支援させていただいてる団体に、社内取り組みとして私たちが何か出来ないかと考え、2021年度は乳がん検診受診者100人が各500円、計50,000円を乳房健康研究会へ寄付させていただききました。



世界の女の子に、生きていく力を。

商品詳細は
コチラ



世界には、女の子を取り巻く様々な問題が山積しています。家庭や学校などでの暴力、早すぎる結婚や女性性器切除などの有害な慣習、「女の子だから」というだけの理由でなされる数々の差別。たとえ女の子が教育や職業訓練などで力をつけても、こうした問題が、その成果を台無しにし、女の子の活躍を阻んでいます。

プラン・インターナショナルの「ガールズ・プロジェクト」は差別や偏見、有害な慣習から女の子たちを守り、同時に、女の子たちが力をつけ、自分や家族はもちろん、地域社会や次世代にまでポジティブな変化をもたらす主体者となるためのサポートを、女の子が直面する問題に焦点をあてたプロジェクトを通じて行っています。

丸眞は、ガールズ・プロジェクト活動に賛同し、対象ブランドの売り上げの一部を寄付しています。

活動の詳細
はこちら

対象商品のご購入が、世界中の女の子を守る活動に繋がります。

対象ブランド



2022年9月7日-9月9日東京ビックサイト『ギフト・ショー』出展

Many Many （メニーメニー）

国々をモチーフに個性あふれる色とりどりであかるいブランド。憧れのあの国や思い出のあの国を添えて毎日の生活にちいさな幸せをお届けします。





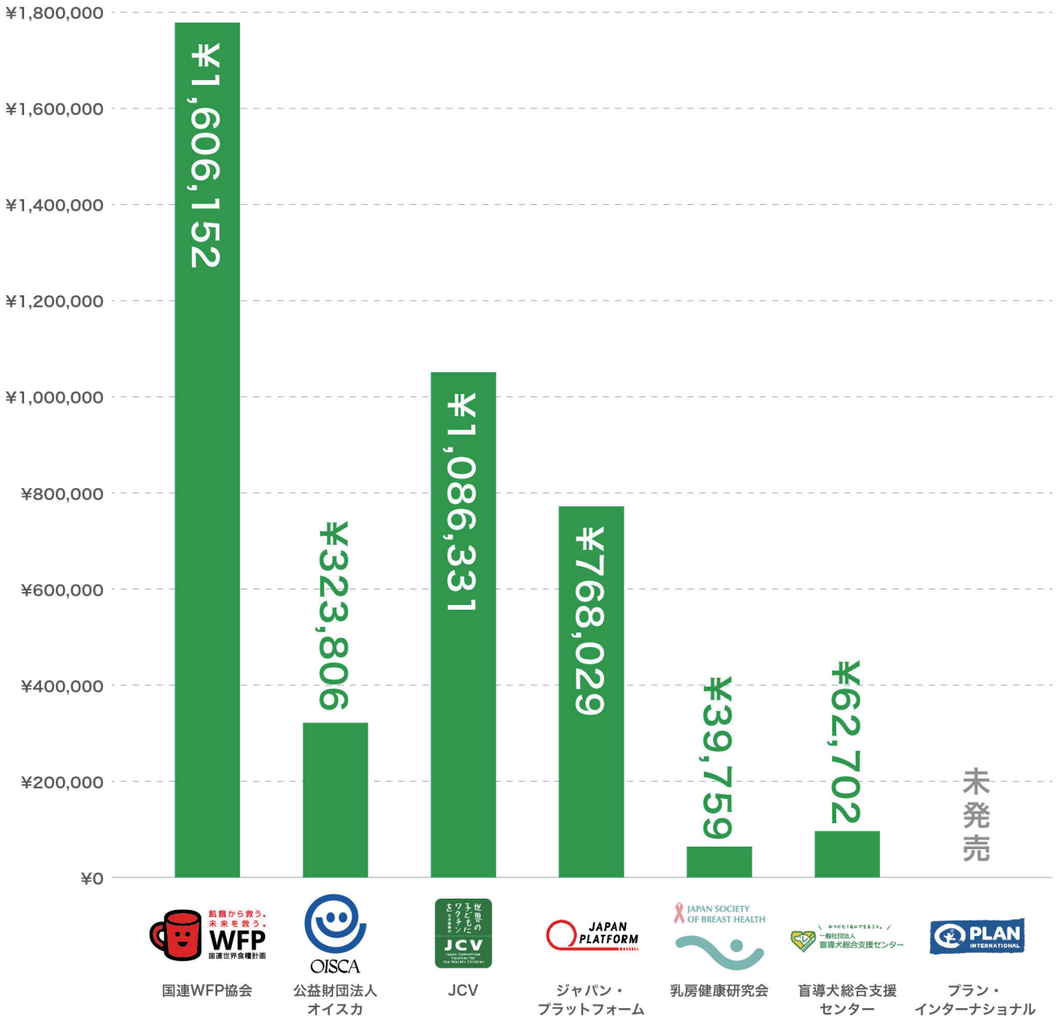
LLP商品寄付金額(2021年9月～2022年8月)

今年度も丸眞のLong Lasting Productsへご支援いただき誠にありがとうございました。昨年度から寄付対象商品や、ご購入いただけるコンシューマーの方々も増え、団体様への寄付金額も増額することができました。

丸眞のオリジナルブランドを通して一人でも多くのコンシューマーに社会支援について少しでも興味を持っていただくことが私たち丸眞の使命でもあります。今後もコンシューマーの皆様に満足していただけるような、未来を紡ぐ商品開発に努めてまいります。

LLP総寄付金額実績

¥3,886,779



寄付金額により届けられた給食・ワクチンの個数

LLP寄付金額により子どもたちに届けた給食

(30円で1食分の給食)

寄付金:¥1,606,152

53,538個

対象ブランド

Yup!
SUN HEART.
piccolino

LLP寄付金額により子どもたちに届けたワクチン

(20円でワクチン1つ分)

寄付金:¥1,086,331

54,316個

対象ブランド

porukka pattern

寄付金額により貢献できる取り組み

乳がん検診を受けられる女性の人数

(1回約5,000円)

寄付金:¥39,759

8人

対象ブランド

Pink Ribbon

環境教育や自然体験を目的に行われるキャンプに参加出来る子供の人数

(2,000円で1人分)

寄付金:¥323,806

161人

対象ブランド

poku

災害地域に届けられる2リットル飲料水の数

(100円で1本)

寄付金:¥768,029

7,680本

対象ブランド

ガッツ!!
NOBLE COLOR
ima

盲導犬ユーザーへの声かけパンフ※を作成できる部数

寄付金:¥62,702

※盲導犬ユーザーへの声かけの方法が学べるA6サイズ(横10.5×縦14.8㎝)の持ち歩きに適したサイズのパンフレットです。

6,000部

対象ブランド

wonderful peace

毎年36,000円の寄付で配布出来る衛生キット

寄付金:未発売

※毎月3,000円(1年で36,000円)で1年間衛生キットなどを受け取れる女の子が14人になります。商品未発売ですので、こちらは参考の数値になります。

14人分※

対象ブランド

Many Many

医療福祉支援

MOOMIN × MARUSHIN × shine on! シャイン・オン！キッズ

ムーミンのタオルを作ろう!



社会貢献に取り組む商品開発の新たな取り組みとして、認定特定非営利活動法人　シャイン・オン・キッズ様、株式会社ライツ・アンド・ブランズ様のご協力のもと、子ども達とムーミンのタオルを企画・デザインしました。

事前にムーミンのデザインに関する勉強会をオンラインにて行い、1週間後に丸眞の東京支社にて企画会議を行いました。勉強会から企画会議までの1週間では、子どもたちがそれぞれ作りたいムーミンのタオルを手書きでデザインし、企画会議に臨みました。当日は、イラストレーターの操作も行い、子どもたちもデザイナーとして思い思いのデザインを落とし込み、真剣に取り組んでくれました。







手書きの図案



完成商品



完成!!

←
左:フェイスタオル「よるのおさんぽ」
右:フェイスタオル「たべちゃおうかな」

ウォッシュタオル、
フェイスタオルを各2柄を展開

↑左:ウォッシュタオル「いざぼうけん」
右:ウォッシュタオル「みつけたよ」



商品の売り上げの一部は、シャイン・オン！キッズ様へ寄付させていただきます。小児がんや重い病気と闘う子どもたちとご家族が積極的に治療に立ち向かえるような「心のケア」のプログラムなどに役立てていただきます。



完成商品のお披露目会をした際には、子どもたちやご家族の方がとても喜んでくださいました。「また次も作りたい！」「この商品をきっかけに小児がんのことを知ってもらいたい」など、喜びの声がたくさん上がりました。

今後も、丸眞の商品や取り組みを通して、夢や楽しさを生み出せるよう、取り組みをアップグレードし継続してまいります。

小児がん、重い病気と闘う子どもたちとご家族の支援のために

日本における子どもの死亡原因は病気に限ると小児がんが第一位になります。年間2,000人から2,500人の子どもが小児がんと診断されています。小児がんは、現在では70%から80%は治る病気となりましたが、治療プロセスは長く過酷です。

子どもたちは、長期間の入院や退院後の治療生活は、不安や大きなストレスとなり、子どもたちはもちろん家族にとっても大きな負担となります。

シャイン・オン！キッズ様では、様々なプログラムを通して、小児がんや重い病気と闘う子どもたちや家族の「心のケア」を行っています。

shine on! シャイン・オン！キッズ

活動の詳細はこちら

©Moomin Characters™

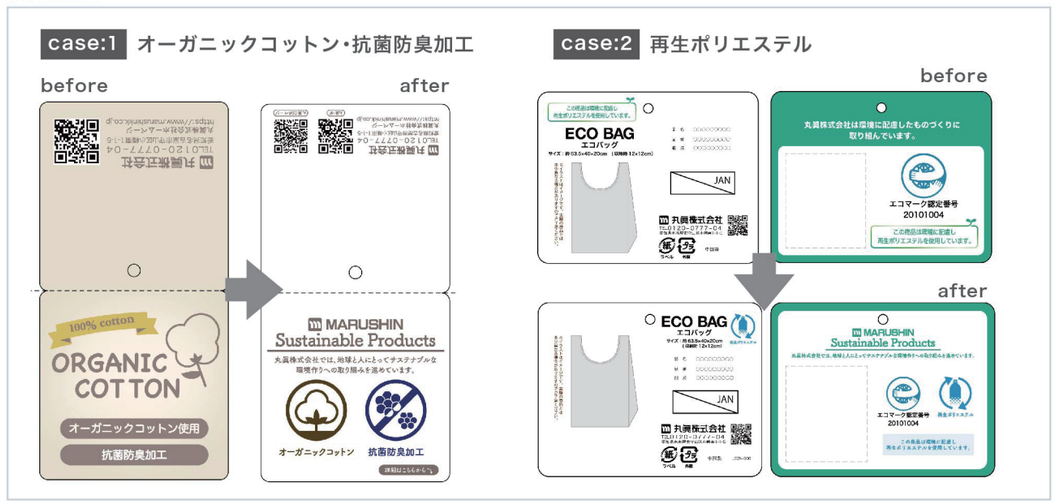
サステナブルマークについて

サステナブルなものづくりをより加速させていく取り組みの一つとして、丸眞オリジナルのサステナブルマークを作成しました。サステナブルな商品を生み出すプロフェッショナルであることを表すシンボルになるマークです。すべての商品にこのマークが付くよう、日々商品開発に取り組みます。

MARUSHIN
Sustainable Products



資材変更例





オーガニックコットン

オーガニックコットンとは、認証機関に認められた農地で、農薬・肥料の厳格な基準をまもって育てられた綿花のことです。そのため、土壌・水質汚染の問題や人体への影響が少なく、環境に配慮された繊維です。





再生ポリエステル

再生ポリエステルとは回収したペットボトルから作られたポリエステル繊維です。再生ポリエステル素材の使用は石油の使用量や、使用済みペットボトルの廃棄物の量も削減できます。





抗菌防臭加工

汗をかいた後、着ていた衣服から嫌な臭いがしてくることがあります。これは細菌が繊維に付着した汗や汚れを栄養源に増殖し、その時に分解されたものが嫌な臭いの主な原因になります。抗菌防臭加工は、臭いの原因となる繊維上の細菌の増殖を抑えて防臭する加工です。





制菌加工

抗菌防臭加工が臭いに着目した加工であるのに対し、制菌加工は繊維上の皮膚常在菌や有害細菌を特定して、それらが増えないように抑制することを目的とした加工です。商品の清潔感を保つために必要な加工です。





抗ウイルス加工

抗ウイルス加工の目的は繊維製品に付着したウイルスの数を減少させて清潔に保つことにあります。どんな時でも赤ちゃんから高齢者の方まで安心安全に使っていただけるようにと考えられた加工です。





紫外線遮蔽加工

プールや海に行った際、紫外線を気にする方も多いのではないでしょうか。紫外線遮蔽加工とは紫外線の遮蔽率を向上させた素材です。生地を透過する紫外線を遮蔽(カット)する加工です。





吸水速乾

生地に付着した汗などの水滴を素早く吸収し乾燥させる性能です。





接触冷感

熱伝導率・熱拡散率が高いことによって、肌の熱が生地に瞬時に移動することで冷たさを感じる仕組みです。



03 Recycling Activities

廃棄されるものから生み出す

日々の生活で廃棄されるゴミは1 日あたり1人約 920 g また、1年で日本のごみは東京ドームの 115 個分といわれています。丸眞ではそのような廃棄物を従業員達で回収し、ゴミにするのではなく次へ繋げられるようなリサイクル活動に取り組んでいます。

また、違うものへとリサイクルするだけではなく、子どもたちの未来や環境を守る活動へと繋げています。

使用済み切手回収

切手53枚が小さな命を救うきっかけとなる

ペットボトルキャップと同様に使用済み切手を寄付し、子どもたちのワクチンに変える支援を行っています。使用済み切手を 認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV） へお送りし、海外のコレクターに送り、売却益をワクチンに換金しています。日々会社に届く郵便物をただ受け取るだけでなく、そこに救える小さな命があるという認識を持ち、今後も積極的に取り組んでまいります。





期間：2021年6月22日～2022年6月25日

回収した使用済切手・・・4,300 枚
救えた子ども・・・80人

プラスチックハンガー回収

プラスチックが及ぼす環境問題を制御する

丸眞の瀬戸物流センターでは、商品に付属しているプラスチックハンガーが不要になった際に破棄してしまうのではなく回収を行っております。プラスチックゴミの破棄は地球温暖化や海洋問題に深刻な影響を与えているのが現状です。回収したプラスチックハンガーは切手と同様に、JCVの子どもワクチン支援活動へ寄付させていただいております。

不要になったものをそのままゴミにしてしまうのではなく、環境を守るために次に繋げられることはないか考え身近なことから今後も取り組んでまいります。





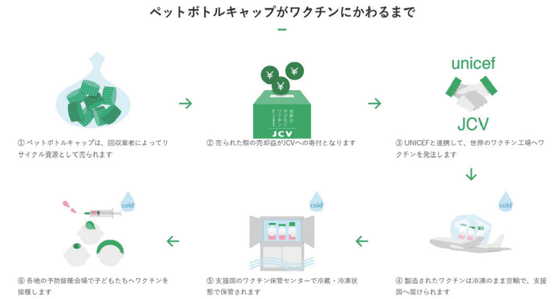
©JCV

回収したプラスチックハンガー・・・565 kg
救えた子ども・・・283 人

ペットボトルキャップ回収

ペットボトルキャップを集めて小さな命を救う

丸眞では従業員が持ち寄ったペットボトルキャップを回収することで、認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV) の子どもワクチン支援活動に参加しています。JCVは開発途上国の子どもにワクチンを贈り、世界の子どもたちの未来を感染症から守る活動をしています。SDGsの目標3である「すべての人に健康と福祉を」を実現するべく、身近でできる取り組みを進めています。





活動の詳細はこちら



©JCV

期間：2021年9月1日～2022年8月31日

回収したペットボトルキャップ・・・182,455 個
救えた子ども・・・212 人

巻き芯回収

期間：2021年9月1日～2022年8月31日

巻き芯を集めて地球の自然を守る

物流機能を持つ丸眞では、通常廃棄となる使用済み粘着テープの巻き芯を回収し、段ボールとして再利用したり、森の植樹活動の支援に繋げる「ニチバン巻き芯 ECOプロジェクト」に参加しています。

このプロジェクトでは、回収した巻き芯をダンボールに再生した利益で、マングローブの樹林や、植林や間伐など適切な手入れを行うことで、空気や水をきれいにしたり、土砂災害を防ぐ、「森のしずく」保全活動に役立てています。

物流にとって必要不可欠な資源であるからこそ、使って終わりではなく、次に有効に使う取り組みを進めています。

回収した巻き芯
・・・10,999個









巻芯 ECO プロジェクト
詳細はこちら

04 Social

社会のためにできること

ウクライナ支援

丸眞は、2022年2月末からのウクライナ情勢を受け、ウクライナ国内、また隣国への避難民の方々へ食料支援をしている国連WFP協会の活動に賛同し、支援をさせていただきました。

ウクライナは2月末からの紛争の影響により、食料不足などで深刻な状況に陥っています。現地の避難民の方々、国外へ逃れている方々は重大な危険にさらされている状態です。日々、世界各地での食料支援を軸に活動をしている国連WFP協会の活動に賛同し、困難の中にいる方々のため食料支援をさせていただきました。

今後も、世界中の様々な困難と共に過ごしている方のため、丸眞としてコミットメントできることに取り組んでまいります。


©WFP/Marco Frattini


©WFP/Marco Frattini

飢餓から救う。未来を救う。WFP 国連世界食糧計画

災害支援

国内災害支援実績

2011年 3月 東日本大震災
毛布5,000枚　バスタオル20,000枚

2018年 7月 西日本豪雨
毛布2,000枚　バスタオル1,000枚

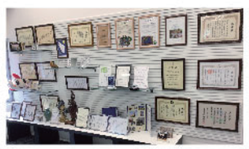
2020年 7月 九州豪雨
バスタオル・フェイスタオル 合計11,000枚

2022年 7月 山形・青森豪雨
バスタオル1,040枚



物品寄付

2021年12月～2022年8月にかけて、主に関東、東海、関西地域を中心に197件の自治体や団体へ、災害備蓄や自治体開催のイベント景品に活用していただくため、計482,002枚タオルの寄付をさせていただきました。今後とも、国内外問わず一人でも多くの人々に有効に活用していただけるよう、丸眞として何ができるか考え支援活動に取り組んでまいります。





子供地球基金への参加

子供地球基金 商品寄付

子供地球基金とは小児病棟、児童養護施設、特別支援学校の子どもたちにグッズ等をプレゼントし、子どもたちに笑顔を届ける社会貢献活動を行なっているNPO法人です。丸眞ではくまのがっこうの商品を、ライセンサーである株式会社キャラ研様を通じてループタオル計800枚を寄付させていただきました。

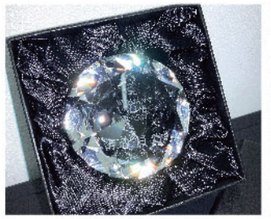


©BANDAI

女性活躍推進

WOMAN's VALUE AWARD

2021年、WOMAN's VALUE AWARD審査員賞を受賞しました。WOMAN's VALUE AWARDとは、女性活躍推進に向けて取り組んでいる企業に贈られる賞のことで、毎回約300社を超える企業がエントリーしています。女性従業員が多く、なおかつ平均年齢も若い丸眞だからこそ、女性のライフイベントや働き方への変化に対応すべく環境の整備を進めています。





広 報

東京駅の日本橋口と八重洲中央口の2か所にて丸眞のCSR活動をピックアップした電子広告を掲載させていただきました。広告は「タオルで救える未来があります」のメインフレーズとコーポレートカラーである緑でまとめ、弊社のデザイナーが作成したものになります。人通りが多い場所で広告を掲示することで、多くの方々に丸眞の取り組みを知っていただく機会となりました。



東京駅日本橋口/八重洲中央口



数字で見る丸眞～サステナブル編～

女性従業員比率
75%

女性管理職比率
55%



電子媒体貸与率
【Surface】
15%
【iPad】
56%
【社用携帯】
20%



研修回数
59回
新入社員30週研修を含む



『デザイナー研修』tonaデザイン事務所 河東先生


『SDGs研修』株式会社 オフィスグラビティー 中川先生


『パタゴニア研修』パタゴニア日本支社　設立者 藤倉様

社内研修

丸眞では1年目の従業員が対象の30週研修や、1〜3年目の従業員が対象の新人合宿研修、外部講師によるSDGs研修やデザイナー研修、エナジード研修等の教育に力を入れています。他拠点や他部署の従業員とディスカッションを行い、新しい意見や価値を取り入れる機会を設けています。普段の業務以外で学ぶ場所を設け、従業員一人一人のアップグレードを目指した教育を今後も強化してまいります。

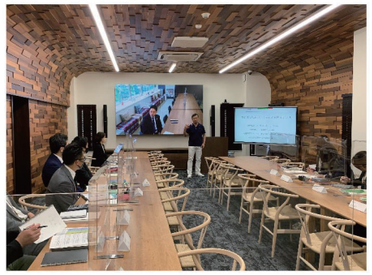

『30週研修』


『新人合宿研修』


『SDGs研修』株式会社オフィスグラビティー 中川先生


『デザイナー研修』tonaデザイン事務所 河東先生


『エナジード研修』株式会社エナジード 岩渕先生・鈴木先生

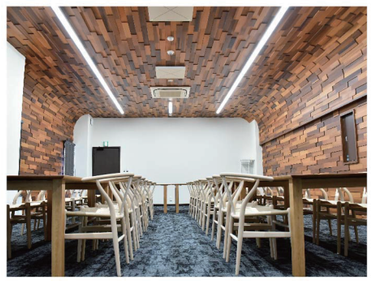

『パタゴニア研修』パタゴニア日本支社 設立者 藤倉様

本社大改装

丸眞では2021年から2022年にかけて本社の大改装を行いました。使用している椅子や机、展示物など1つ1つに丸眞のこだわりが詰まっております。その中でも4階の会議室と5階のラウンジは第35回日経ニューオフィス賞　中部地方　奨励賞を受賞しました。環境の整備や様々なデジタルシステムの導入により、今まで以上に効率的に業務を遂行出来るようになりました。今後も働きやすい環境とは何かを試行錯誤し、より生産性の高い丸眞へとアップグレード出来るように努めてまいります。






4階会議室


5階ラウンジ

05 Environment

脱炭素化社会に向けて〜カーボンニュートラルへの貢献〜

丸眞として排出するCO2は様々あり、社用車（営業車や運送トラックなど）や事務所の電気代、コピー用紙など紙の使用量も、紙の製造工程などから見ると最終的にはCO2の排出に影響しています。CO2の排出は環境問題の中でもマイナスの影響を及ぼしていると言えるため、排出削減が求められます。

日本政府としても、2050年までに温室効果ガスの排出を0にすることを宣言しています。近年ではカーボンニュートラルという言葉も浸透しているように、世界中で見ても大きな社会課題の一つとして捉えられています。今後より力を入れていくべきこととして、丸眞は脱炭素社会に向けて取り組んでまいります。

2022 検証期間 → 2023 目標％策定 実際の取り組み開始 → 2030 目標達成

丸眞としてまずできることが、社内で使用する備品やツールの見直しです。
現状の使用状況と向き合い、身近なものから課題解決へコミットメントしてまいります。

2021年CO2削減実績

紙

ペーパーレスによる実績(2021年9月〜2022年8月)

削減枚数：**152,686枚**　守ることができた木の本数：**16本**

削減できたCO2 の量：**214kg**

今後CO2 削減に取り組む項目

ガソリン

社用車によるCO2の排出量(2021年9月〜2022年8月)

丸眞社用車の台数：12台　1ℓ当たりのCO2排出量：約 2.32 kg

年間ガソリン使用量18,233ℓ　年間CO2排出量：42,300 kg

電気

電気使用量(2021年9月〜2022年8月)

全拠点使用量：567,858kwh　年間CO2 排出量：290,743.3kg

1kwh当たりのCO2排出量：約0.512 kg

06 SDGs Activity

丸眞の様々な取り組みはSDGs目標の達成につながっています。
目標達成のメカニズムとなるターゲットに沿って活動に取り組み、目指すべきゴールを明確にしています 。

01 Introduction

12-2 天然資源の持続可能な管理と利用

▶丸眞マニュフェスト

02 Products

2-2 あらゆる形態の栄養不良をなくす

▶国連WFP協会「レッドカップキャンペーン」

3-8 すべての人々に対する保健医療サービスの実現

▶JCV 子どもワクチン支援活動
▶ピンクリボン活動　▶サステナブルマーク

5-1 女性および女児に対する差別をなくす

▶プラン・インターナショナル ガールズ・プロジェクト

10-2 社会、経済、政治における包摂性の促進

▶盲導犬総合支援センター
▶シャイン・オン！キッズ×ライツ・アンド・ブランズ

11-5 自然災害による被害を減らす

▶JPF 緊急災害支援基金

15-2 森林減少の阻止と劣化した森林の修復

▶オイスカ「子供の森」計画

03 Recycling Activities

3-8 すべての人々に対する保険医療サービスの実現

▶使用済み切手回収　▶プラスチックハンガー回収
▶ペットボトルキャップ回収

12-2 天然資源の持続可能な管理と利用

▶巻き芯回収

04 Social

4-4 経済的自立に必要なスキルを
持つ人々を増やす

▶社内研修

5-5 リーダーシップや意思決定における
完全参画の確保

▶女性の管理職登用

8-3 雇用創出や起業を支援する
政策の促進

▶本社大改装

11-5 自然災害による被害を減らす

▶災害支援

05 Environment

13-2 気候変動対策を政策や計画に
統合する

▶脱炭素化社会

07 Opinion From Outsider



SUSTAINABILITY REPORT 2021
株式会社 オフィスグラビティー
代表取締役　中川 優

サステナビリティ戦略

「SUSTAINABILITY REPORT 2021」(以下、「本レポート」)の報告内容について評価し、第三者としての意見を述べます。
今回は第2版となり下記の点で報告内容に改善や強化が見られました。
・「丸眞マニュフェスト」の明示
・成果の見える化
・コンシューマーとのエンゲージメント強化
・新たな社会支援（ウクライナ支援、シャイン・オン！キッズ）
・脱炭素への発信

1.「丸眞マニュフェスト」の明示

本レポートで最初に目につくのは「マニュフェスト」を明示している点です。本マニュフェストは、安心安全な商品の提供と暮らしを豊かにするための3テーマ(商品 資材 生産過程)を起点に2030年までに達成すべき目標を開示しています。地球環境やコンシューマーに責任を持つ企業として、「未来を紡ぐものづくり」を目指す企業姿勢を端的に示す取り組みと言えます。

2.成果の見える化

次に特徴として挙げられるのは、各取り組みの成果を数字で示している点です。 先のマニュフェストにおいても進捗率を示し、寄付金額実績、CO2削減実績など随所に成果の見える化を発信することへの努力が見て取れます。サステナブルな社会実現を願う企業として“成果で物語る”ことが重要と言えます。さらに注目すべきは取り組みテーマのアイコン化(シンボルマーク)です。具体的には、行動指針やマニュフェスト、サステナブルマークなどにオリジナルのサステナブルマークを表示しています。サステナブルな商品を生み出すプロフェッショナルを表し、丸眞のデザイン性を表現する好例と言えます。 なお今回より「脱炭素化社会に向けて～カーボンニュートラルへの貢献～」の削減実績が掲載されました。

3.コンシューマーとのエンゲージメント強化

NPOとの協働による、子ども達とムーミンのタオルを企画実施しています。事前に子どもたちにデザインに関する勉強会をオンラインで行い、ムーミンのタオルを考えてデザインを落とし込むプロジェクトです。まさに丸眞らしさを生かした(将来の)コンシューマーとのエンゲージメントの強化を図る効果的な取り組みと言えます。今後このようなNPOとの協働により「らしさ」を発揮できるプロジェクトが増えることも期待されます。

4.新たな社会支援

2022年を象徴する出来事はロシアのウクライナ侵攻でしょう。ウクライナは「世界の食糧庫」と言われており食糧危機の懸念が高まっています。 その中で、ウクライナ国内や隣国への避難民の方々への食料援助する国連 WFP の活動を支援しています。
また新たに医療福祉支援策として「シャイン・オン！キッズ」へのサポートを開始しています。 日本で子どもの病気による死因の１位は小児がんとのことで、「シャイン・オン！キッズ」は闘病する子どもたちと家族のために様々なチャリティイベントやプログラムを実施すると共に「心のケア」を行う団体です。

今後の方向性

・社会的に注目度の高い「脱炭素社会」への掲載はよい傾向です。今後は取引先から要請される可能性の高い“サプライチェーンのCO2”（スコープ３）の把握を視野に入れて検討してください。
・「廃棄されるものから生み出す」というテーマは普遍的な課題と言えます。 さらなる充実を図るため、又は環境価値向上を目指して「捨てるという概念を捨てる」「サーキュラーエコノミー」の方向性も検討してみてください。こちらも注目度の高い社会課題で、この一年様々な業界で動き出しています。
・ワールドカップ・カタール大会においても人権問題がクローズアップされました。これは4年前にはなかった動向です。時機を見て「ビジネスと人権」への取り組みも何らかの形でご検討ください。

第三者意見の手続き

株式会社オフィスグラビティ―は、丸眞株式会社より「サステナビリティ・レポート」(以下、本レポート)に対する第三者意見の依頼を受け、これを実施しました。独立・公平の立場から、本レポートの報告内容について評価を行い、その基礎情報をもとに本意見書を作成しました。本レポートは「GRIスタンダード」(以下、「GRI」)に準拠していませんが、報告された一般開示事項、 経済/環境/社会開示項目を部分的に参照しました。よってオフィスグラビティーが、本レポートに公開されている定量及び定性情報が一般に普及している作成基準に準拠して正確に算定及び記載され、かつ重要な事項が漏れなく表示されているかどうかについて判断した結果を表明するものではありません 。

MEMO

MEMO

MARUSHIN
SUSTAINABILITY REPORT 2021

[社名]
丸眞株式会社

[報告対象期間]
第55期 2021年9月～2022年8月

[報告書発行]
報告書発行　2023年1月

[作成担当]
丸眞株式会社　経営戦略室

丸眞株式会社のサステナブル活動の取り組みにつきましては
丸眞株式会社CSRホームページをご確認ください。






2022年5月20日タオルのデザイン会議 / 2022年11月11日丸眞株式会社 東京支社 商品のお披露目会

Message ～皆さまへのメッセージ～

この度は、丸眞株式会社サステナビリティレポート2021をご覧いただきまして誠にありがとうございます。丸眞として2回目のサステナビリティレポートを制作させていただきました。丸眞CSRマニュフェストの策定やLLP商品の拡大、サステナブルマークの作成、本社大改装等今年度は様々な取り組みを行ってまいりました。

これからも丸眞は、世界中の暮らしを豊かにするために、挑戦・革新を続け、すべての人から選ばれ続ける企業を目指してまいります。これからも取り組みの幅を広げ、新たな未来を紡いでまいりますので、今後とも変わらぬご指導・ご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。